

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

福祉国家建設の一翼を担って社会に奉仕し、技術を究め和信協同して企業の繁栄と幸福を創出する

売上高
350億円

営業利益率
5%

売上高
450億円超

ROE
7%超

② 中長期の経営戦略

1. 生産体制の機械化・自動化

工場を中心に設備投資を進め、省人化技術導入で生産性向上。保有資産活用・売却で投資資金確保

2. 就業環境改善

健康経営優良法人2025認定。リ・ブランディング活動でハード・ソフト両面から働きやすさ整備

3. 収益性向上プロジェクト

工事工場利益改善プロジェクトの成果展開。選別受注・利益優先主義継続で営業利益率5%達成

4. キャッシュフロー改善

設計変更・スライド単価変更の適時実施で収益平準化。3期連続マイナスの財務課題解決

③ 対処すべき課題

① 人材確保と生産性維持

- 人口減少社会で担い手不足。計画達成困難な状況
- 工場での機械化・自動化導入で省人化実現が重要
- 新規入職者確保へ働きやすさ整備が必須

② 市場環境の競争激化

- 高速道路大規模更新事業が約4割市場だが整備スピード鈍化予想
- 受注環境の競争激化が懸念される
- 一方、建築事業のハーフプレキャスト工法FR板の需要拡大が期待

③ 財務体質の強化

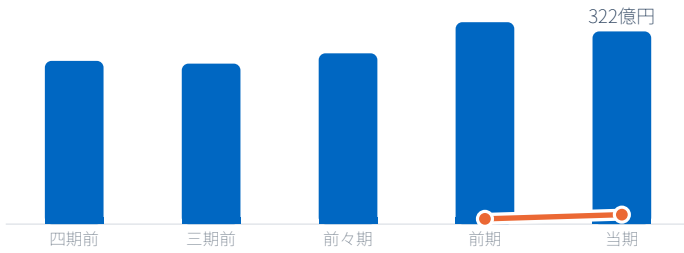
- 営業キャッシュフロー3期連続マイナスは大課題
- PBR1.0以上達成、ROE8%超実現を目指す
- 配当性向40%目指す。自己株式取得も検討

面接で使えるポイント

- VISION2030で2030年度売上高450億円超・営業利益率5%超を目標に、価値創造型エンジニアリング企業を志向
- 健康経営優良法人2025ホワイト500認定。働きやすさハード・ソフト両面整備で生産性向上実現
- 大豊建設との業務提携でプレキャスト化推進・メンテナンス工事総合対応。シナジーで市場拡大狙う

証券コード 1848

業績の推移 (売上=棒 / 営業利益=線)



※営業利益は直近2期のみ開示 (有報の様式変更による)

要するに
1954年に福岡で設立された建設業企業

主力事業・セグメント

- ・Civilエンジニアリング・建設 71.7%
- ・建設産業 28.3%

強み・特徴 (公開データから)

- ・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
322億円営業利益率
4.9%財務健康度
33点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 51.0 (当サイト算出の参考指標)

平均年収
796万円

建設業内 70位/140社

平均年齢
44.2歳

建設業内 47位/140社

平均勤続
15.9年

建設業内 68位/140社

女性管理職
4.4%

建設業内 40位/112社

男性育休
88.9%

建設業内 38位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く (面接で話すこと)

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で (例: 勤続年数が長い要因は...)

直近ニュース十一言

参考: (株)富士ピー・エス【1848】: 決算情報

